

Rohm Music Friends[♯]

ローム ミュージック フレンズ

2016.3 | No.3

—ローム ミュージック ファンデーションの音楽文化支援情報誌—



ピエール＝オーギュスト・ルノワール「ギターを弾く女性」1897年
Femme jouant de la guitare, 1897
© RMN-Grand Palais/Claude Gaspari/AMF /amanaimages



ローム ミュージック ファンデーションは
音楽を通して
豊かな文化を作ることを
目指しています。



Rohm Music Friends

No.3
2016.3

目次

p03 理事長 佐藤研一郎 音楽への思い
佐藤研一郎 × 小澤征良

p07 活躍する奨学生 インタビュー

p11 ロームシアター京都

p17 スカラシップ コンサートVol.6~9
奨学生 認定式・報告会

p21 フレンズ コンサートVol.2

p25 奨学生からのお便り

p31 新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室
『蝶々夫人』

p32 メセナアワード

p33 奨学生一覧

佐藤研一郎 音楽への思い

No.2 小澤征爾音楽塾、ロームシアター京都 ほか

佐藤研一郎 対談 小澤征良
Ken Sato Seira Ozawa

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 創立者・理事長
ローム株式会社 名誉会長



いままで正式にどなたかにインタビューをしたことがないのでとても緊張して京都にうかがいました。でも私にとって、佐藤研一郎さんという方は(もちろん並外れた経歴の偉人というのは言うまでもないのですが)その肩書きだけでなく、15年ほど前にお会いして以来今まで、一人の人として飛び抜けてユニークで、大きな宇宙を内側に秘めている方で大尊敬しているので、インタビューという場のおかげで、いろんなお話を聞かせていただけたらと思うと、緊張すると同時に、冒険前のわくわくするような思いもありました。

(ここでは、佐藤研一郎さんのことを敬愛を込めて普段通り「研さん」と呼ばせていただけましたら幸いです。)



小澤 征良
作家・エッセイスト

米国サンフランシスコ生まれ。上智大学比較化学部卒業。メトロポリタン歌劇場主席演出家デイビット・ニース氏につき、オペラ演出を学ぶ。「おわらない夏」(集英社)でデビュー。著書に小説「蒼いみち」(講談社)「しずかの朝」(新潮社)、エッセイ集に「思い出のむこうへ」(筑摩書房)「そらいろいろ」(新潮社)、翻訳に「アプディーの冒険物語」(ホーム社)など。アンソロジー本に「いつも一緒に」(新潮社)「君と過ごす季節」(ポプラ社)。「いま、どこですか」(新潮社、杏共著)など。集英社「すばる」に「ひとすくいの時間」連載中。

〔前回に続いて〕

研 研さんが『小澤征爾音楽塾』を父と始めることを決めてくださったとき、『小澤征爾音楽塾』という名前にすごくこだわっておられたことを覚えているんです。

研 ええ。それね、征爾さんが、最初、何とかユースオーケストラみたいな、ちょっと外国名みたいなのをおっしゃっていましたね。

研 ああ、はい。ちょっと、何かバターっぽいというか。

研 「そういうの、あかん」と。「ちゃんと、小澤征爾って入れて」って言いました。「何とかユースオーケストラなんて、誰がやっているか分からないようなのはあかん」って。征爾さんが「じゃあ、どうする?」って、「どうするって、『小澤征爾音楽塾』が良い」と。

研 はい。

研 「なんで、僕の名前使わなきゃならないの」って征爾さんがおっしゃるから、「あなたの名前は有名なんだから。それが1つ。それからもう1つは、この音楽グループ・団体が、一体、誰の主権なのかはっきりとした方がいい」と。

研 ああ、なるほど。

研 そうしたら、征爾さんから『小澤塾』というのが出たんです。だから、ちゃんと姓名を入れて、『音楽』というのを明確にする必要があるって言いました。征爾さんは「長いなあ……。いちいちそんな名前、もっと簡単な名前ですと分かるようにしよう」っておっしゃっていましたけど。

研 さすが先見の明というか。とてもネーミングとしてもかっこいいですよ、今思うと。多分、そのとき父は自分の名前が付くのが恥ずかしかったというか、あの、すごく謙虚なところがあるのだ。きっと、そういう思いがあったと思います。

研 遠慮してね。

研 でも、たしかに『小澤塾』にしなくてよかったですね。何の『塾』なんだかさっぱり分かりませんものね。

研 年末にお邪魔したときに、ロームの本社の前の並木通りが、花の都パリ顔負けの、約80万球の電飾でしたっけ、ライトアップされていて、ものすごく感動したんです。地元京都の方々みんな、毎年楽しみにしておられるのもよく分かりました。また、同じ日に、ロームの社員の方のバンドのコンサートも聴かせていただきました。私、コンピューターとか半導体とか、機械音痴だし分からない世界ですけど、ロームという会社はとても楽しそうというイメージが強くあるんです。プラスバンドのコンサートでも、社員の方たちがね、みんな、楽しそうに、ほんとうにいい顔をして、音楽を奏でていたってということと、それから、町の人も楽しみにしている

小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト、オーケストラ・プロジェクト

2000年、小澤征爾さんが若手音楽家を育成することを目的に開始されました。恩師であるカラヤンの言葉「交響曲とオペラは、音楽という車の両輪のようなもの」を持論にする小澤さんは、その実践の場として小澤征爾音楽塾公演を開催しています。ロームは活動が開始した2000年より、その公演活動を継続的に支援しています。

〔2000年～2016年の公演プログラム〕



あのような素晴らしいアーティスティックなイルミネーションを何日もかけて用意して。あれ、もっと、でしたっけ。

研 3か月です。

征良 わあ、3か月ですか！それだけの時間をかけて！そんな会社って、他にあるのかなって。その楽しいことを、きちんと文化にしている会社。半導体メーカーって、一見硬くて難しそうなのに、実はそんなふういろいろなことをして、大人が子どもにふっと戻れる瞬間があるような会社で。そういう瞬間を自分たちの文化の一部として作り出しているっていうイメージ、すごく素敵だなんて思いました。

研 ありがとうございます。

征良 ニューヨークのメトロポリタンオペラ座の首席演出家のデビッド・ニースのアシスタントを、20年ぐらい前にしていたときのことで。とても感動したのが、練習の初日には、

誰の頭のなかにも存在しないもの(世界)が、演出家の頭のなかには全部、最初からくっきりあるんですね。こういうことは、もの作りをする



ローム株式会社 本社
イルミネーション
2015年実施の様子



方々、映画監督などもそうだと思うんです。ある世界観が演出家の頭のなかにちゃんと明確に全部あるから、1か月というようなりハーサルの練習期間を経て、ちょっとずつ、現実のものとして、着実に実現していくわけじゃないですか。照明が入って、衣装が入って、ストーリーを読み込んだ演出家による出演者たちへの細かな演技指導の稽古が入って、最初は、空っぽの殺風景なりハーサルルームで何も具体的なじゃなかった世界が、1か月後には、お客様の目に実際に見える具体的な空間として、ステージの上で、目の前に登場するという。同じように、多分、研さんの頭のなかに思い描いていたものが、会社が存在する前からあったから、今、この現実のロームというくべつな会社があるんだと思います。財団の存在についても、そうですし。それっていうのは、いつぐらいから思い描かれていたのかなって、研さんご自身はもしかして意識されてないのかもしれないですけど。私、すごく興味があります。

研 ピアノをやめたころでしょうね。別に、今の立場とか仕事が好きで始めたわけじゃなくて。ピアノと比較して、どっち取るか、ね。それで、やっぱりピアノは捨てよう。こっち行こう、と。みんなが、ひどいこと言うんですよ。「ピアノって儲からへんしな」って。

征良 ひどい。(笑)

研 儲かるか儲からないか、じゃないんです。

征良 …じゃないですね。でも、誰かの頭のなかにしか存在していなかったことが、現実の世界とあるとき実現するのですから、そういうって奇跡みたいなことですね。ピアノはいつごろ、どうして始められたのですか？

研 5歳からだと母親から聞いています。戦争中は弾くなって言われて、夏の暑いなか窓を閉め切って小さい音で弾いていたことを思い出しますね。父親が新交響楽団(現在のNHK交響楽団)のヴァイオリン奏者でしたから、音楽とは縁のある家で、楽譜の読み方なども親から教えてもらいました。

征良 そうだったのですね。

征良 ロームが50年間のネーミングライツというかたちで支援して京都会館が



ロームシアター京都に生まれ変わりますね。きっかけは、何か、京都会館に対する研さんの個人的な思い入れからでしょうか？

研 いや、そうではないです。私はただ、皆さんが良い環境で良いものを見て聴いて、それで、音楽などを好きになってくれたらって思っているだけで、たまたま京都市から京都会館再整備にあたってのネーミングライツのお話をいただき、タイミングもうまく合って、良かったと思っています。50年間ですから、建物の耐用年数とほぼイコールだと聞いています。

征良 まさに建物そのもの、という感じですよ。演奏する側への支援だけじゃなくって、音楽などを楽しむ環境が整うことで、聴く側も増えますね。音楽文化全体の活性化に繋がっている。何だか、大きさではなく、研さんのパッションが、そして、ロームが、日本の音楽文化をぐんぐん引っ張っていている感じですね。

文/小澤 征良



活躍する 奨学生 インタビュー

VOL.3

Yoko Kikuchi

菊池 洋子 [ピアノ]

2002、2003年度奨学生
給付時の在籍学校:イモラ音楽院



©Marco Borggreve

Profile

2002年第8回モーツァルト国際コンクールにおいて日本人として初めて優勝。その後、ザルツブルク音楽祭のモーツァルト・マチネに出演するほか、チューリヒでのリサイタルや、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭やパレルモ音楽祭への参加など国内外で活発に活動を展開し、実力・人気ともに日本を代表するピアニストの一人である。2009年にはモーツァルトのピアノ・ソナタ全曲をフォルテピアノとモダンピアノを用いて演奏するといった意欲的な企画に取り組み好評を得た。最近では、世界的バレエダンサー ディアナ・ヴィシニョワや吉田都ほかと共演している。CD録音も活発に行い、エイベックスとオクタヴィアよりリリースしている。2007年第17回出光音楽賞受賞。



日本を代表するピアニストとして国内外で活躍されている菊池洋子さん。昨年開催のこれまでの奨学生に出演いただく「フレンズ コンサート」第1回目にも出演していただきました。今回はコンサートのため帰国されているところ、お話を伺ってきました。

—音楽家を目指されたきっかけをお聞かせください。

私が通っていた幼稚園は、お昼寝や給食のときはいつも先生がアップライトピアノを弾いてくれていたんです。その時間がとても楽しみで、またちよどピアノブームが来ていたので習っている子も多く、私も弾きたいなと思ったのがピアノとの最初の出会いです。

4歳から習っていたのですが、真剣にピアニストになりたいと思ったのは、中学1年生のとき、(故)田中希代子先生のレッスンを受け始めてからです。私にとって、希代子先生とは運命の出会いです。

当時、群馬に住んでいたのですが、東京まで2週間ごとにレッスンを受けに通っていました。

—その後、イタリアのイモラ音楽院に入学されましたね。どうしてヨーロッパに行かれたのですか？

決め手はやはり田中先生ですね。先生も10代の時からパリに留学されていて、私も高校を卒業したらパリに留学したいと思っていました。卒業のとき、残念なことに先生がお亡くなりになって、それで日本を出ようと決心しました。

最初は先生と同じパリを考えていましたが、そのころ国際コンクールで優勝したり、私が魅かれた演奏をする若いピアニストたちのプロフィールを見ると「イモラ音楽院、フランコ・スカラ教授に



1996年、イモラ音楽院の外にて。留学当初、写真の通り三つ編みに白いハイソックスを履いていたので、スカラ教授は今でも私を人に紹介するときは、「洋子は「長くつ下のピッピ」みたいだったんだよ」と笑いながら話します。

師事」と書かれているのを見て、いったいどんな先生なんだろうと興味を持ちました。門下の人がそれぞれの個性を持って活き活きと弾いていたんです。それでイモラ音楽院で勉強してスカラ先生に師事したいと思うようになりました。

—イモラ音楽院の生活はいかがでしたか？

お城の中の一部を音楽院として利用していて、それ以外は博物館になっています。本当に自由な学校で、自分の先生は決まっていますが、勉強する作曲家や曲によって専門の先生が他にいらっしゃれば、その先生のレッスンを受けることもできました。

レッスンも基本は10日に1回くらいですが、あとは本人のやる気次第で、毎日受けることもできるし、とにかく積極性が大事でした。音楽院の先生方や生徒が毎週集まって弾き合いをして、その後皆でピザを食べて散歩に行ったり卓球をしたり家族のようで、私にとってスカラ先生はイタリアのお父さんのような感じでした。

私が住んでいたところの下の階が、スカラ先生が趣味で集められていた100台を超える古楽器の収集所で、先生が楽器の点検や演奏のためによく来られていました。そのときも、上の階で練習している私のピアノを聞いて、「どうしてその曲ばかり練習しているの?」「練習方法変えて」などたびたび電話がかかってきたので家で練習中も先生が聞いているかもしれないと思いなかなか気が抜けませんでした。気にかけて見てくださっていて有難い環境でした。

コンサートピアニストとしてやっていく人のための学校なので、試験は本当に厳しかったです。当時は入学できる人も3,4人というなか、毎年の進級試験でもどんどん落とされるんです。



©堀田力丸



留学時代、イモラにて



上/イモラの家天井画
右/イモラ家の練習室



試験曲は2時間のリサイタルプログラム2つと協奏曲2曲を準備しなければならず、協奏曲の伴奏も必要でした。当時の私には膨大な量でした。先生からは「1日8~9時間以上練習しなさい」と言われていたので練習に明け暮れた毎日でした。当時は厳しいなあと思っていましたが、プロとして活動するにはその量は当たり前で、学生時代に鍛えてもらえて良かったと感謝しています。

—2002年にモーツァルト国際コンクールで優勝されましたね。

イモラ音楽院ではピアノに加えて、古楽器にも触れることができました。先生が、集めていらっしゃる古楽器を自分だけが楽しむのは勿体ないから、生徒たちの勉強に役立てたいとフォルテピアノ科ができたんです。そこで、自然と古典派のレパートリーが増えてきて、モーツァルトを重点的に勉強するようになりました。

フォルテピアノ科に入って3年目くらいのとき、先生から「モーツァルトのレパートリーも増えたい、いい勉強になるから」とザルツブルクで行われているモーツァルト国際コンクールを勧められて、受けました。

優勝後は、日本でも演奏機会をいただけるようになり、モーツァルトの協奏曲もほとんど全部、演奏会で弾くことができました。モーツァルトは27曲もピアノ協奏曲を書いてくれたので、ありがとうございます、という気持ちです。

©堀田力丸

—フォルテピアノでモーツァルトを勉強したことは重要でしたか？

意識が大きく変わりました。モーツァルトが実際に作曲した時代に使われていた楽器に触れることで、新しい発見がたくさんありました。古楽器を演奏するときは、鍵盤のタッチやコントロールなど現代のピアノを弾くときはまた違う感覚と意識が必要です。

今のピアノは可能性が無限ですが、当時の楽器は1オクターブごとに音色が違って、まるでソプラノやアルトなどの声みたいなんです。「モーツァルトの音楽はオペラなんだよ。会話の音楽なんだよ。」と教えていただいたこともよく理解できました。

—その後、ベルリンに拠点を移されましたね。

イモラ音楽院には15年間在籍しました。毎年の試験に通れば在籍延長が可能な学校でした。

イモラは気候も良く、人もイタリア人気質で楽しくて本当に住みやすい街でした。

街の人皆が知り合いというくらいに住み慣れてしまい、居心地が良すぎてこのままでは自分がだめになってしまうと思い(楽しい生活にさよならをして)刺激の多いベルリンに移りました。

最初の2週間くらいはベルリンに馴染めなくて泣いてばかりいましたね。ベルリンフィルの音楽家と室内楽をしたり、素敵な出会いにもたくさん恵まれ、ベルリンに住んで良かったと思っています。ベルリンではほとんど毎晩オペラやコンサート、バレエを観に行きました。ウィーンやミラノなど他の国にも。イモラの時の反動なのでしょうね。(笑)

—印象に残った本番や生活でのエピソードはありますか？

モーツァルト国際コンクールで優勝した翌年にザルツブルク音楽祭でモーツァルトの協奏曲を演奏したときは、プレッシャーでしたがザルツブルクの聴衆に受け入れてもらい自信に繋がった大切なコンサートです。

また、紀尾井ホールでモーツァルトのソナタ全曲演奏会をピアノとフォルテピアノで弾き分けたことも大切な経験になりました。

イモラの生活では忘れられない恐怖のハプニングがありました。夜洗濯機をかけて寝たら、洗濯途中の振動で洗濯機のドアが開いてしまい朝起きたらいろいろな物がプカプカ浮いていてプールのような状態になっていました。それ以来洗濯機恐怖症です。

—昨年からスタートした奨学生の方に出演していただくフレンズコンサートではピアノトリオで出演していただきました。

ヴァイオリンの小野明子さん、チェロの遠藤真理さんとは初めての共演でした。リハーサルもたくさんできる環境で、お互いじっくり解釈を話し合っただけで曲を作っていたので、とても充実感がありました。この演奏会がきっかけで小野さんがいるロンドンに遊びに行ったり、2015年12月にはデュオコンサートをしました。



左/Slovenia Radio Television Orchestraとイモラの教会で共演
下/イモラの劇場にて演奏後



活躍する奨学生インタビュー

©堀田力丸

—現在の奨学生や今後音楽家を目指す若い方になにかアドバイスはありますか？

留学できる環境にあれば、若いときに本場ヨーロッパの空気を吸いに行きたいです。そこで見る景色や空気も大事ですし、演奏会は学生でも毎日行けるような席があるので、積極的に見たり聴いたりして、音楽を体に染み込ませてほしいと思います。

—最後に、現在の活動や今後についてお聞かせください。

協奏曲やリサイタルが主ですが室内楽にも積極的に取り組んでいます。

ホルンのパボラークとは一緒に演奏するようになり10年経ちます。毎回共演するたびに自分が成長できる大切な音楽パートナーです。

今後の目標の1つは再びモーツァルトのピアノ全曲演奏会を実現させて、1回目の経験と発見を活かした演奏を皆様にお聞きいただきたいと思っています。

□ 今後の演奏会予定(日本国内のみ)

- 大阪フィルハーモニー交響楽団 岐阜定期演奏会
2016年3月5日(土) 18:30 サラマンカホール
- 菊池洋子 ピアノ・リサイタル
2016年5月15日(日) 15:00 横須賀芸術劇場 大ホール
- 浜離宮ランチタイムコンサート 豊嶋泰嗣 ピアノ・トリオ
2016年5月19日(木) 11:30 浜離宮朝日ホール

ロームシアター京都

ROHM Theatre Kyoto

ロームは長年にわたり音楽芸術を支援してまいりました。50年間京都市民の皆様にご愛されてきた「京都会館」が再整備されるにあたり、京都市に本社を置くロームは、その新しいコンセプトに共感し、今後50年間のネーミングライツの形でお手伝いさせていただくことになりました。「ロームシアター京都」が日本を代表する文化の殿堂として広く愛されることを願っています。



ロームシアター京都 メインホール客席

©小川重雄

ロームシアター京都が華々しくオープン!

2016年1月10日(日)、ロームシアター京都開館記念式典が行われ、ロームシアター京都がオープンしました。再整備工事の関係で2012年3月に休館してから約4年、多くの方々にオープンが待ち望まれたロームシアター京都。式典には門川大作京都市長、山田啓二京都府知事とともにロームの澤村諭社長も登壇し、多くの方々で新しい劇場の門出を祝いました。

また、開館記念式典に加え、記念公演として京舞井上流 五世家元の井上八千代さんによる祝舞、観世流と金剛流の皆さまによる能楽、京都市交響楽団による記念演奏が行われ、ロームシアター京都の幕開けを華々しく飾りました。

今後、ロームシアター京都ではオペラやクラシック音楽、バレエ、伝統芸能、ポップス系のコンサートなど、さまざまなジャンルの公演が行われる予定です。また、公演が無い日でもパークプラザに設置されている蔦屋書店やスターバックス コーヒー、レストランで楽しい時間を過ごすことができます。

ぜひ、一度京都岡崎にあるロームシアター京都へ足をお運びください。



©渡辺真也

ロームシアター京都に「ミュージックサロン」をオープン!

ロームシアター京都の開館と同日である2016年1月10日、パークプラザ3階に音楽総合体験施設「ミュージックサロン」をオープンしました。ミュージックサロンは、音楽とさまざまな形で触れ合うことができる施設で、ローム ミュージック ファンデーションがこれまでにやってきた事業やオーケストラ・オペラなどの貴重な映像を7.1chのサラウンドシステムと120インチの大画面で鑑賞できる設備を備えるほか、ローム ミュージック ファンデーションの奨学生や著名音楽家によるコンサートやセミナー、音楽に関する資料の展示ができる機能なども持っています。

最新のイベント情報や展示内容は、ローム ミュージック ファンデーションのWebページよりご覧いただけます。



【内観】

©上田祐勢

■「ミュージックサロン」施設概要

場 所：ロームシアター京都 パークプラザ3階東側
面 積：約96㎡
定 休 日：臨時休館日を除き年中無休
営 業 時 間：10:00～19:00
利 用 料 等：無料、原則出入り自由(一部整理券が必要な場合あり)
主 要 設 備：サラウンドシステム、120インチスクリーン、プロジェクター、演奏スペースなど
主 な 開 催 内 容：オペラやオーケストラなどの映像・音源の放映、イベント(コンサート、セミナー、資料展示など)

【小澤征爾音楽塾展】

2016. 1/10 (日)～2016. 3/19 (土)

記念すべき第1回目のイベントは、2016年2月18日(木)、2月20日(土)に京都で開催された小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIV「こもり」に関連して、これまでの小澤征爾音楽塾で実際に使用した衣装や資料を展示しました。

小澤征爾さん本人による直筆の書き込み入りの楽譜など、貴重な資料も多数展示し、多くのお客様に喜んでいただきました。

【内容】

- ・過去に実際に使用された衣装、小道具の展示
- ・これまでのリーフレットに使用されたポスターの展示
- ・ポスターに使われた山本容子さん、マリア・パツタリアさん原画の展示 (日本初展示)
- ・小澤征爾さんが実際に使用した楽譜の展示



ラヴェル：歌劇「子どもと魔法」フルスコア
(小澤征爾さんの自筆による書き込みあり)

ロームシアター京都オープニング事業

ロームシアター京都プロデュース・オペラ

フィデリオ

音楽…L.v.ベートーヴェン

(セミステージ形式/全2幕/日本語字幕付き)

2016.1/11 ロームシアター京都 メインホール

ロームシアター京都のメインホールで行われる初の公演、そして初のオペラということで、新しく生まれ変わった劇場の機能を十分に活用した舞台となりました。当日は多くのお客様にご来場いただき、この素晴らしい舞台芸術を鑑賞いただきました。



指揮…下野竜也

演出…三浦基

管弦楽…京都市交響楽団

合唱…京響コーラス、京都市少年合唱団

・レオノーレ(フィデリオ)…木下美穂子

・フロレスタン…小原啓楼

・ドン・ピツァロ…小森輝彦

・ドン・フェルナンド…黒田博

・マルツェリーネ…石橋栄実

・ロッコ…久保和範

・ヤキーノ…糸賀修平

劇団「地点」

安部聡子、石田大、小河原康二、

窪田史恵、河野早紀、小林洋平

主催：京都市、ロームシアター京都(公益財団法人

京都市音楽芸術文化振興財団)

協賛：ローム株式会社

今回の「フィデリオ」の公演で中心的な役割を担った
ローム ミュージック フレンズにお話を伺いました。

[左から下野竜也、木下美穂子]



下野 竜也 [指揮]

1999年度奨学生

歌手の皆さんにとっても、オーケストラにとっても、大変な難曲でしたが、合唱団も加わって、最後の高揚感も見事でした。主役はいるけれども全員が主役という感じの特殊なオペラを、全員で取り組めたということが、本当に素晴らしかったと思います。また今回、三浦基さんの演出と、地点の俳優の皆さんの出演によって、ジャンルを超えた新たな「フィデリオ」像をつくることができたと思いますし、この作品の在り方というものをお客様に投げかけられたと思います。そして、お客様に大きな拍手をいただきながら、このロームシアター京都がスタートしたことを実感しました。



木下 美穂子 [ソプラノ]

2006年度奨学生

今回の「フィデリオ」では、指揮者の下野さん始め、京都市交響楽団、スタッフ・キャストの皆様、また劇場で私達の公演を支えてくださった全ての方々に深く感謝申し上げます。私にとっては初となったドイツオペラが、ロームシアター京都・オープニング公演という、一生忘れられない公演となりました。レオノーレ役のお話をいただいたのが2年ほど前。このレオノーレはソプラノの中でもドラマティックな表現を必要とする難役だという噂は知っていましたが、一見楽譜を見ただけでは正直分かりませんでした。実際勉強を始めてみて、その難しさを思い知りました。素晴らしいキャスト、スタッフに恵まれ、何とかこの大役を無事に終えたこと、今は心から嬉しく思っております。またこのメンバーでいつの日か再演できたら…と願っております。



ROHM MUSIC FESTIVAL 2016

ローム ミュージック フェスティバル

2016年1月10日オープンの「ロームシアター京都」にて開催する新企画!
国内外で活躍するこれまでの奨学生など豪華出演者による音楽祭!

2016.4/23[土]、4/24[日] ロームシアター京都
[メインホール/サウスホール/ローム・スクエア]

4/23 [土] オーケストラ コンサートI 華麗なるオペラとバレエ音楽

19:00開演 メインホール
S 4,000円/A 3,000円/B 2,000円/C 1,000円

シトラウスII世:〈こもり〉よりチャルダッシュ“ふるさとの調べよ”
ヴェルディ:〈リゴレット〉より“女心の歌”
ヴェルディ:〈椿姫〉より“乾杯の歌”
チャイコフスキー:バレエ音楽「白鳥の湖」(スペシャル・ハイライト版) ほか
京都市交響楽団(管弦楽)
京響コーラス(合唱)

リレー コンサート

A 珠玉の室内楽

13:00開演 サウスホール
S 3,000円/A 2,000円/B 1,000円
ショスタコーヴィチ:弦楽四重奏曲第8番
ドヴォルザーク:ピアノ三重奏曲第4番「ドゥムキー」ほか

B ソリストたちの競演

16:00開演 サウスホール
S 3,000円/A 2,000円/B 1,000円
ショパン:ワルツ第6番「子犬」
ドブラー:ハンガリー田園幻想曲 ほか

ローム・スクエア(野外)では京都の学生による演奏をお楽しみいただけます。
(無料公演・天候によって中止の場合あり)

特設サイトをオープン!
公演の詳細はこちらをご覧ください。
ローム ミュージック ファンデーション

主催:公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 共催:ローム株式会社
後援:京都市、京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

チケット お取り扱い

- ロームシアター京都チケットカウンター 075-746-3201
- エラート音楽事務所 075-751-0617

チケットは全席指定・消費税込です。(ローム・スクエア公演を除く)。
未就学児のご入場はご遠慮ください。(ローム・スクエア公演を除く)。
都合により出演者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。



出演者

A 吉田 誠 [クラリネット]	A 山谷口 直子 [クラリネット]	A 堀見 亮 [ピアノ]	A 松本 和将 [ピアノ]
A 三浦 友理枝 [ピアノ]	A 磯 絵里子 [ヴァイオリン]	A 中島 麻 [ヴァイオリン]	A 吉田 有紀子 [ヴァイオリン]
A 長谷部 一郎 [チェロ]	A 植村 太郎 [ヴァイオリン]	A 渡辺 健二 [チェロ]	A 桜井 陽子 [ヴァイオリン]
A 江口 心一 [チェロ]	A 小林 有沙 [ピアノ]	B D 池上 英樹 [パーカッション]	B 岡本 昌平 [ピアノ]
B 山本 浩一郎 [トロンボーン]	B 新居 由佳梨 [ピアノ]	B 上野 隼矢 [フルート]	B 内門 卓也 [ピアノ]
I II 阪 哲朗 [指揮]	I 安藤 赴美子 [ソプラノ]	I 林 美智子 [メゾソプラノ]	I 中島 康晴 [テノール]
I 青山 貴 [バリトン]	I II 泉原 隆志 [ヴァイオリン]	C 小林 美樹 [ヴァイオリン]	C 岡本 麻子 [ピアノ]
C 小林 愛実 [ピアノ]	D 菊地 裕介 [ピアノ]	D 佐藤 卓史 [ピアノ]	D 難波 薫 [フルート]
D 金子 平 [クラリネット]	D 石橋 幸子 [ヴァイオリン]	D 瀧村 依里 [ヴァイオリン]	D 赤坂 智子 [ヴィオラ]
D 中木 健二 [チェロ]	D 桜井 陽子 [コントラバス]	II 神谷 未穂 [ヴァイオリン]	II 古川 展生 [チェロ]
II 萩原 麻未 [ピアノ]	II 神尾 真由子 [ヴァイオリン]		

吉田誠:©Akira Muto 三浦友理枝:©Yuji Hori 磯絵里子:©Masafumi Nakayama 小林有沙:©武藤章 池上英樹:©Yuji Hori
新居由佳梨:©ミューズエンターテインメント 阪哲朗:©TAKASHI IMAI 安藤赴美子:©Shingo Azumaya/Octavia Records Inc.
林美智子:©toru hiraiwa 小林美樹:©Shingo Azumaya 小林愛実:©Akira Muto 金子平:©読響 中木健二:©Mirco Magliocca
佐野央子:©堀田力丸 古川展生:©ミューズエンターテインメント 神尾真由子:©Shion Isaka

スカラシップ コンサート Vol.6~9 奨学生 認定式・報告会

次世代を担う若き音楽家たちが奨学生期間の成果を披露!

ローム ミュージック ファンデーション スカラシップ コンサート

Vol.6~9 ~RMF奨学生によるコンサート~

奨学金給付期間中または給付終了後1~2年の音楽学生が出演するコンサート。

音楽ファンの拡大と、若い音楽家への演奏機会の提供を目的に2013年より継続して開催しています。

2015年8月の4日間、2013、2014年度奨学生計22名が、約800人のお客様に、様々な楽器のソロを中心としてデュオやトリオでもフレッシュな演奏を披露しました。

- Vol.6 2015. 8/7
- Vol.7 2015. 8/8
- Vol.8 2015. 8/28
- Vol.9 2015. 8/29

京都文化博物館 別館ホール



会場の外観および内観

次世代を担う若き音楽家たちが、奨学生期間中の成果を披露!

ロームミュージックファンデーション スカラシップ コンサート Vol.6-9 ~RMF奨学生によるコンサート~

2015.8月7日(金) 開演18:00 終演18:30

2015.8月8日(土) 開演18:00 終演17:30

2015.8月28日(金) 開演19:00 終演18:30

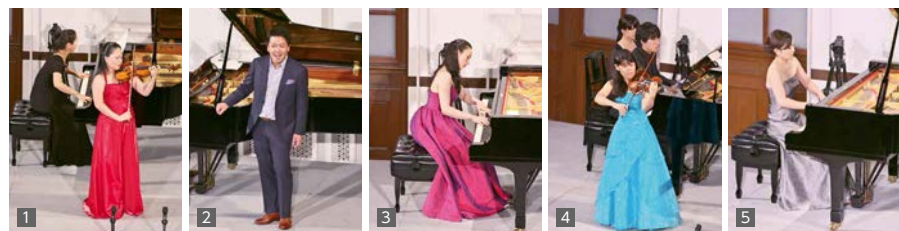
2015.8月29日(土) 開演18:00 終演17:30

京都文化博物館別館ホール

入場料(全席指定) 前席 ¥1,000 (後席 ¥800)

Vol.6

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 吉田南 [ヴァイオリン] | 4 原麻里亜 [ヴァイオリン] |
| 2 木村善明 [バスバトン] | 5 佐藤麻理 [ピアノ] |
| 3 石村純 [ピアノ] | |



Vol.7

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 江澤茂敏 [ピアノ] | 4 沼澤淑首 [ピアノ] |
| 2 井坂実樹 [フルート] | 5 周防亮介 [ヴァイオリン] |
| 3 齊藤一也 [ピアノ] | 6 中桐望 [ピアノ] |



Vol.8

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 今田篤 [ピアノ] | 4 藤江扶紀 [ヴァイオリン] |
| 2 毛利文香 [ヴァイオリン] | 5 田村響 [ピアノ] |
| 3 小林愛美 [ピアノ] | |



Vol.9

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 喜多宏丞 [ピアノ] | 2 反田恭平 [ピアノ] |
| 2 大江馨 [ヴァイオリン] | 3 上野通明 [チェロ] |
| 2 岡本侑也 [チェロ] | 4 小林沙羅 [ソプラノ] |



2015年度 奨学生 認定式・報告会

スカラシップコンサートと合わせて、8月8日および28日にローム・本社にて、2013、2014年度奨学生の報告会と2015年度奨学生の認定式を開催し、計39名の奨学生が京都に集いました。

ロームミュージックファンデーション理事の澤村諭(ローム株式会社 代表取締役社長)より認定証を授与し、奨学生より今後1年間の抱負や奨学金給付期間中の勉学状況報告を発表していただきました。



認定証の授与
(左)ロームミュージックファンデーション
理事 澤村諭(ローム株式会社 代表取締役社長)

2015. 8/8、8/28

ローム株式会社 本社

[抱負・報告の発表]



[8/8 集合写真]



[8/28 集合写真]



懇親会

コンサート終了後には奨学生同士で交流を深めていただくため、ロームミュージックファンデーションおよびロームの関係者も加わり懇親会を開きました。

[懇親会の様子]



フレンズ コンサートVol.2

国内外で活躍するローム ミュージック フレンズの豪華共演!

ローム ミュージック ファンデーション フレンズ コンサート Vol.2

～RMFの仲間たちによるコンサート～

ローム ミュージック ファンデーションがこれまでに奨学援助し、現在国内外で活躍されているプロの音楽家であるローム ミュージック フレンズが出演するコンサート。音楽ファンの拡大を目的に2014年より開催しています。2015年はローム ミュージック フレンズ計12名が3部構成で演奏し、豪華な夢の共演が実現しました。

第1部は一夜限りの特別編成チェロ・アンサンブルで、プロオーケストラの奏者やソリストとして活躍されているチェリスト6名が、繊細な二重奏から迫力の六重奏までを披露、第2部は木管のフルート、金管のトランペット、一人ずつソロで多彩な音色を披露、第3部は注目の初共演ソリスト3人が、ピアノ三重奏で白熱した演奏を披露しました。

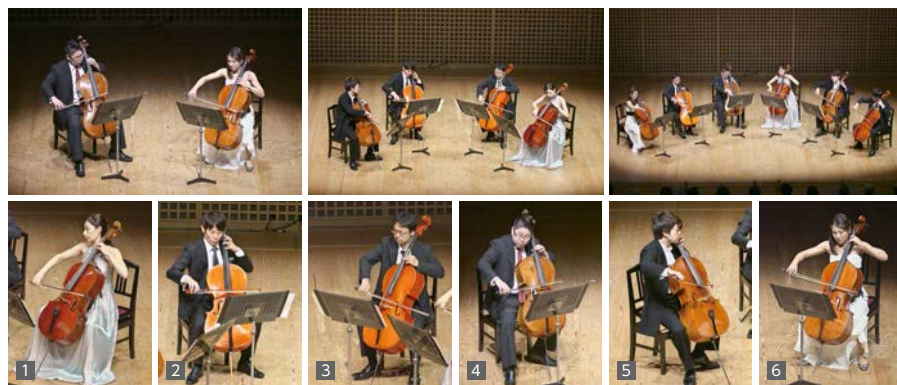


2015. 11/21

京都コンサートホール 小ホール



第1部「チェロ・アンサンブルの楽しみ」



1 奥田なな子 2 唐沢安岐奈 3 熊澤雅樹 4 辻本玲 5 横坂源 6 渡邊方子[チェロ]

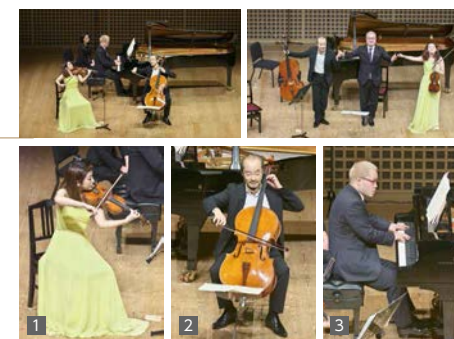
第2部 「管楽の息吹」

- 1 藤井香織[フルート]、東由輝子[ピアノ]
- 2 菊本和昭[トランペット]、佐竹裕介[ピアノ]



第3部 「華麗なるピアノ・トリオ」

- 1 木嶋真優[ヴァイオリン]
- 2 林裕[チェロ]
- 3 田村響[ピアノ]



懇親会

コンサート前日には、出演者同士で交流を深めていただくため、ローム ミュージック ファンデーションおよびローム関係者も加わり懇親会を開きました。

【懇親会の様子】





フレンズ コンサートVol.2
チェロ・アンサンブル出演者
終演後座談会

©竹原伸治

今年も大盛況のうちに幕を閉じた「フレンズコンサートVol.2」。第1部で素晴らしい演奏を披露していただいたチェリストの6人に、演奏直後の興奮冷めやらぬなか、お話を伺いました。

—演奏、お疲れさまでした。本日のご感想などをお聞かせいただけますか？

唐沢 この6人、それぞれのオーケストラで活躍している人、ソリストとして活躍している人と枠を超えてアンサンブルができたことは刺激になり、リハーサルから本番まで楽しい3日間でした。

熊澤 チェロ弾きは世界的に見ても仲が良いんですよ。この6人は世代も違うし、留学や学んだ場所・時間も違うけど、なんとなくどこかで一緒に演奏したことがあったりして。今回こうやって素敵なメンバーで集まれて大変幸せでした。

渡邊 いつもオーケストラの仕事がメインなので、所属しているオーケストラ以外の世界で今活躍している人たちと久しぶりにご一緒しました。皆さん留学していたので、お食事の時間なども留学語で盛り上がり、演奏以外にも楽しい時間を過ごせました。

辻本 すごく楽しかったです。これまで一緒に弾く機会がなかった皆さんと演奏できてとても嬉しかったです。

奥田 皆さんそれぞれ違う国で勉強してきているんですけど、こうやってざっと集まってすぐにひとつの音楽を創りだせるっていいなあと、改めてチェロの音って素晴らしいと思いましたし、私はチェロも好きだけど、チェロを弾いている人たちもすごく好きなんだとこのメンバーとご一緒して実感しました。

横坂 チェロアンサンブルは多くの方々に親しまれ、またグループもあり、実はポピュラーな編成なんです。

でも、今回のように普段それぞれが違うオーケストラやソリストとして演奏している人たちが集まって、短い時間で合わせるのには実はすごく珍しく、難しいことです。

それでも可能だったのは、メンバー全員が留学を通して外の文化を肌で感じて勉強してきたという共通点があったからかなと思います。

熊澤 チェロ・アンサンブルは音域が他のアンサンブルより広いので、可能なのが增えるんですよ。

唐沢 チェロは表現の幅が広いところが魅力ですよ。

熊澤 チェロという楽器を選んだからそうなるのか、そういう人がチェロを選ぶのか分からないけど、チェロ弾きってアンサンブル好きだし、集まるのが好きな人が多いですね。

横坂 大学とかでもチェロ科はすごく仲が良い！

唐沢 この6人は初めて会った人もいるけど、ご飯もお茶も、またまたご飯もと、この3日間いつも一緒でしたね。

奥田 リハーサルしたことより一緒にご飯を食べにいった印象の方が強いくらい！

唐沢 でも、それって大事だよな。そうやって一緒にご飯食べたりすると、アンサンブルの音も絶対変わるんですよ。良い影響がある。人間と人間だからね。

—素晴らしい演奏を、ありがとうございました。



奥田 なな子
2006～2009年度奨学生
給付時の在籍学校：フライブルク音楽大学、
ベルリン芸術大学大学院

フライブルク音楽大学留学。ベルリン芸術大学に移籍後、ディプロマを最優秀で取得。2012年同大学院ソリストコース修了。国家演奏家資格を取得し、帰国。ソリスト、室内楽、国内主要オーケストラへの客演など活躍の場を広げている。



唐沢 安岐奈
1994、1995年度奨学生
給付時の在籍学校：東京藝術大学大学院

東京藝術大学を経て同大学院修了。ハンガリー国立ソリスト音楽院留学。1991年現代音楽室内楽コンクール第1位、1992年東京音楽コンクール室内楽部門第2位など受賞多数。現在、読売日本交響楽団チェロ奏者。



熊澤 雅樹
2001、2002年度奨学生
給付時の在籍学校：トロッツンゲン州立音楽大学

桐朋学園大学アンサンブル・ディプロマ修了。トロッツンゲン州立音楽大学卒業。ドイツに留学。フライブルク歌劇場管弦楽団にて研修。広島を拠点にエスミス弦楽四重奏団、広島室内楽協会などを主宰。現在、広島交響楽団チェロ奏者。



辻本 玲
2007～2010年度奨学生
給付時の在籍学校：シベリウス・アカデミー、ベルン芸術大学、
ベルン芸術大学大学院

東京藝術大学首席卒業。その後シベリウス・アカデミー、ベルン芸術大学卒業。2009年ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第3位入賞（日本人最高位）2013年第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。2015年日本フィルハーモニー交響楽団ソロ・チェロに就任。



横坂 源
2008、2009年度奨学生
給付時の在籍学校：シュトゥットガルト音楽大学

2002年全日本ビバホールチェロコンクール最年少優勝。2010年第59回ミュンヘン国際音楽コンクール第2位。第15回出光音楽賞、第7回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第14回ホテルオーケストラ音楽賞受賞。これまで小澤征爾、岩城宏之他、超一流の指揮者などと共演、好評を博す。



渡邊 方子
2004～2006年度奨学生
給付時の在籍学校：イエール大学、インディアナ大学

桐朋学園大学ソリストディプロマコース修了。2001年イエール大学音楽院に留学。2004年にサーティフィケートを取得し卒業。その後インディアナ大学に在学。2007年アーティストディプロマを取得し卒業。第66回日本音楽コンクール第2位。現在、NHK交響楽団チェロ奏者。

奨学生からの

お便り

The letter from scholarship students

これまでの奨学生から届いたご活躍の様子を一部ご紹介します。(順不同)

氏名 [専攻] 奨学生年度
給付時の在籍学校

世界一うまくなりたい!

藤木 大地 [カウターテナー] 2008~2011年度奨学生
ウィーン国立音楽大学大学院

ウィーン国立歌劇場と客演契約を結ぶことができたことはキャリアのハイライトです。でも、まだ道半ば。ハングリーに、鍛錬と挑戦を続けます。私の歌を応援してくださる人が増えてきたことがとても嬉しく、その人たちのためにも、もっとうまくなりたい。言わないと実現しないから、大きな声で言いたいです。多くの支えに心から感謝。



上/2015年6月、ウィーン国立歌劇場「テンペスト」の初演のマチネに作曲家トーマス・アデス氏のピアノで出演
下/ウィーン国立歌劇場前にて、専属歌手を10年務めたバリトン甲斐栄次郎さんと

パリのテロとレコーディング

大島 莉紗 [ヴァイオリン] 1999、2000年度奨学生
英国王立音楽大学、グラーツ芸術大学

パリオペラ座管弦楽団での活動も早10年を超えました。2015年はパリで2度もテロが起こる不安で落ち着かない年でした。私自身の活動としては、ベートーヴェンの遺書で有名なウィーンのハイリゲンシュタットにあるベートーヴェンホールでのレコーディングが印象的でした。こちらは2016年のリリースとなる予定です。



右/パリオペラ座ガルニエ宮にて本番前
下/ウィーン、ベートーヴェンホール近辺



リンツ・ブルックナーハウスでのコンサート出演

服部 慶子 [ピアノ] 2005~2008年度奨学生
ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学大学院

2015年6月、オーストリアのリンツ・ブルックナーハウス大ホールにて行なわれたダウン症の人々のためのチャリティーガラコンサートに出演し、ダウン症のドイツ人チェリスト カタリーナ・ライヒェルト氏と共演しました。



コンサートにて

フィンランド放送交響楽団 日本公演

小山 裕幾 [フルート] 2010~2012年度奨学生
バーゼル音楽院

2014年8月より所属するフィンランド放送交響楽団が、2015年11月、オールシベリウスプログラムで来日演奏会を行いました。母国での演奏会は感極まるものがあり、他の日本人奏者達とこの幸せを噛み締めました。また数年後アジアツアーを行うと聞いたので今から楽しみです。今後とも精進を重ねていきたいと思っています。



上/サントリーホールにてフィンランド放送交響楽団 演奏会
下/ノロピッコリストのHanna-Kaarina Heikinheimo氏と舞台裏にて

愛知県立芸術大学音楽学部准教授に就任

川島 幸子 [ソプラノ] 2004~2007年度奨学生
ドイツ国立「フランクフルト」ワイマール音楽大学

2015年4月、愛知県立芸術大学音楽学部および大学院音楽研究科准教授に就任しました。ローム ミュージックファンデーションの奨学生としてドイツで学び経験したことを活かし、これからの若い才能ある学生たちに伝え教えることができ、充実した日々を送っています。また演奏活動として、2015年6月に広島交響楽団、12月に東京都交響楽団と、秋山和慶先生の指揮で共演しました。



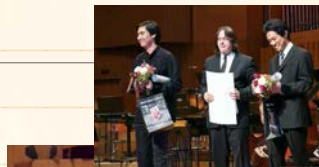
2015年6月4日、秋山和慶指揮・広島交響楽団とのコンサートにて



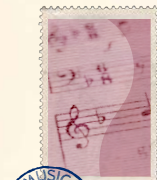
初めて参戦したコンクールで...

栗辻 聡 [指揮] 2012年度奨学生
グラーツ芸術大学

2015年10月6日~11日にクロアチアのザグレブ、リジンスキーホールで開催されたロプロ・フォン・マタチッチ国際指揮者コンクールで第2位を受賞しました! 世界中から178人の応募があり、書類選考、そして現地での3回の審査を通し選考されました。初めてコンクールの本選に参加することができたので、結果も去ることながら、無我夢中で音楽に没頭できたことが何よりも幸せでした。



上/授賞式にて
下/ザグレブフィルハーモニーのリハーサル



ブゾーニ生誕150周年記念演奏会を開催!

畑野 小百合 [音楽学] 2014~2015年度奨学生
ベルリン芸術大学大学院

「ヘルマン・ヴォルフ音楽事務所」についての博士論文に取り組む一方、フェルッチョ・ブゾーニの生誕150周年である2016年は、ブゾーニ関係のシンポジウム(2016年3月東京)とレクチャーコンサート(2016年4月2日東京・8日京都)も開催します。コンサートでは、研究の過程で発見するに至ったブゾーニ自筆の風刺画を紹介しつつ、ブゾーニの多面的な魅力を演奏とお話でお楽しみいただけます。ぜひご来場ください! <http://busoni150.jimdo.com/>

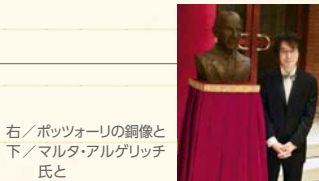
右/ベルリン市内、
ブゾーニの名譽墓碑
下/フェルッチョ・
ブゾーニ
(1866~1924)



帰国後のこと

沼澤 淑音 [ピアノ] 2012、2013年度奨学生
チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院

2015年9月にイタリアのポツォーリ国際コンクールで優勝し、2016年3月イタリアでの演奏会の機会をいただくことができました。浜松国際ピアノコンクールでは残念ながらセミファイナル進出はならなかったのですがサプライズ賞としてネルセシアン賞とアルゲリッチ賞を受賞し、別府アルゲリッチ音楽祭に出演できることになりました。とても嬉しかったです。今後も頑張りたいと思います。



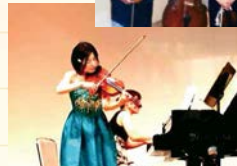
右/ポツォーリの銅像と
下/マルタ・アルゲリッチ
氏と



ソロと室内楽の演奏活動と後進の指導

植村 理葉 [ヴァイオリン] 1997、1998年度奨学生
ローザンヌ音楽院、カール・マリア・フォン・ウェーバー国立音楽大学

草津夏期国際アカデミー&フェスティバルで、シューベルトの弦楽五重奏曲をヴェルナー・ヒンク氏ほかと共演しました。また、2015年第2回目となる植村理葉ヴァイオリン夏期講習では、「留学」をテーマにレクチャーも行いました。2016年4月17日(日) 14:00より東京文化会館でリサイタルを行います。



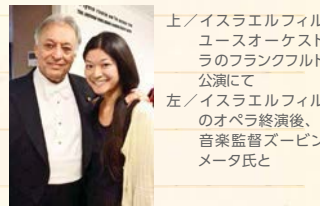
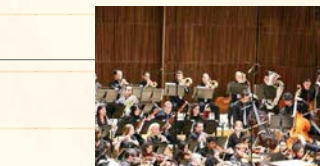
上/音楽祭にてシューベルトの弦楽五重奏曲を
ヒンク氏ほかと共演
下/京都にてフォーレのソナタを演奏



イスラエルフィルとズービンメータ

小林 知世 [クラリネット] 2008~2011年度奨学生
ヴェルサイユ国立地方音楽院、エルサレム音楽院、テルアビブ大学

ズービンメータ音楽監督のイスラエル・フィルハーモニー管弦楽団(イスラエルフィル)でオペラや交響曲、そしてアジアツアーやドイツツアーにも参加しました。オーケストラの持っている独特の緊張感、音楽性、優れたアンサンブル能力には毎回圧倒されます。2015年にはハイファ交響楽団(イスラエルの北部)の団員になり、イスラエルで演奏活動をしています。



上/イスラエルフィル
ユースオーケストラの
フランクフルト公演にて
左/イスラエルフィル
のオペラ終演後、
音楽監督ズービンメータ氏と



スペインコルドバ国際指揮者コンクール第3位受賞によせて

岸本 祐有乃 [指揮] 2006~2008年度奨学生
ウィーン国立音楽大学

東京藝術大学指揮科に遠回りをして通常より10年遅く入学した私は、これまで主要な国際コンクールの年齢制限条件に抵触し、受験することが叶いませんでしたが、この度2015年9月にスペインのコルドバで開催された、スペインコルドバ国際指揮者コンクールで、このような受賞の栄誉に輝けたこと、お世話になった皆様から感謝申し上げます。ローム ミュージック ファンデーションのおかげで、さまざまな挑戦を続けることができ、充実した5年間の留学生活の集大成として、今回の賞をご報告できることを心から嬉しく思います。



スペインコルドバ国際指揮者コンクール授賞式にて



菅野雅紀×ブラームス・プロジェクト

菅野 雅紀 [ピアノ] 2006~2009年度奨学生
ハンガリー国立リスト音楽院、東京藝術大学大学院



2015年は合計16の企画をブラームス・プロジェクトとして行いました。3月のハンガリー公演を皮切りに、4月から12月にかけて東京と名古屋、各4公演にわたるブラームス・ピアノ全曲演奏会、カワイ表参道では連続4回のブラームス・ピアノ曲講座、札幌、旭川でのブラームス公演、武蔵野音楽大学紀要への研究論文の寄稿なども行いました。演奏・教育・研究の多方面からのブラームスへのアプローチが好評を博しました。



2015年12月23日、すみだトリフォニー小ホールにて東京第4回公演

2015年の活動

加藤 史幸 [バリトン] 2009~2011年度奨学生
ペーザロ・G・ロッシー二国立音楽院



東京二期会「リゴレット」マルッコ役で出演しました。イタリア人指揮者バッティストーニとの共演でした。よどみのない指揮に深く感銘を受けました。7月には第51回日伊声楽コンクール第1位及び歌曲賞を受賞しました。イタリア留学での経験をこのような形で生かすことができ大変嬉しいです。これからも精進し頑張っていきたいです。



上/東京二期会「リゴレット」共演者と舞台裏にて
下/日伊声楽コンクール受賞者演奏会にて終演後

読響欧州ツアーとローマ賞受賞

酒井 健治 [作曲] 2002、2005~2007年度奨学生
フランス国立パリ高等音楽院、ジュネーブ音楽院



©読売日本交響楽団

2013年12月、サントリーホールにて読売日本交響楽団により世界初演された「ブルーコンチェルト」が翌年3月に同オーケストラによる欧州ツアーでユトレヒトとブリュッセルで再演され、5月には日本人作曲家で二人目となるローマ賞(ローマフランスアカデミー滞在資格者)を受賞するなど、国際的な活動を展開出来たのではないかと思います。現在ローマの長い歴史を誇るメディチ荘に滞在し、創作活動に打ち込んでおります。



上/読売日本交響楽団欧州公演(ブリュッセル)
左/ローマ賞受賞者、メディチ荘ディレクターの集合写真



アナ・チュマチェンコ先生との共演

玉井 菜採 [ヴァイオリン] 1998、1999年度奨学生
ミュンヘン音楽大学



アナ・チュマチェンコ先生と

2015年4月、所属する紀尾井シンフォニエッタ東京第99回定期演奏会にて、ミュンヘンでの恩師アナ・チュマチェンコ先生とモーツァルトの2台のヴァイオリンのためのコンチェルトを共演しました。奨学金をいただいていたミュンヘンでの2年間、アナ先生から受け取ったことは、今も自分の中で育て続けている音楽の源です。そして、日本でもアナ先生の素晴らしい音楽を聴いていただくお手伝いが出来ることは、大きな喜びです。



充実した演奏活動の日々

佐々木 宏子 [ピアノ] 1991、1992年度奨学生
カーティス音楽院



上/スコット・バランティン氏と、カーネギーホールにて
左/息子のカイト

カーネギーリサイタル10回目の招待出演、パッファローチェンバーミュージックソサエティコンサート出演、アマデウストリオのツアー、ブルックリンライブラリーでのリサイタルなど、2015年も大変充実した年を過ごさせていただきました。今年も、カーネギーリサイタル他、ハンガリー、ブダペストでの室内楽ツアーなど、楽しみにしております。息子のカイトは1歳半になりました。子育てをしながらも音楽活動が出来るのが幸せです。



現代作品リサイタル『フルーティッシモ!』

若林 かをり [フルート] 2009~2011年度奨学生
ストラスブル音楽院



現代作品に焦点をあてた「フルーティッシモ!」シリーズをはじめました。今年度は「フルートソロの可能性」をテーマに、東京(2公演)・長野・滋賀で開催。全公演に作曲家を迎えてトークを行い、滋賀公演では美術作品(光る陶器)とコラボレーションにより、目と目で現代作品を感じていただきました。このシリーズは今後も継続予定です。夏には、留学していたストラスブルでのリサイタルの機会もいただき、2015年は充実した1年になりました。



上/「フルーティッシモ!」近江楽堂にて
下/ストラスブルでのリサイタルにて

平成27年度 新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室 ジャコモ・プッチーニ作曲 オペラ『蝶々夫人』

若い世代に、優れたオペラを鑑賞する機会を通して芸術文化の素晴らしさを伝えるため、新国立劇場にて1998年からスタートした鑑賞教室。2008年からは兵庫県の尼崎で関西公演も開催されています。音楽文化の普及と発展には優秀な音楽家の育成とともに聴衆の拡大も重要との考えから、ローム株式会社は1999年より、ローム ミュージック ファンデーションは2008年より毎年継続的に支援しています。今年も東京で6日間・約10,000人、関西で2日間・約3,500人の感性豊かな高校生が鑑賞し、大盛況のうちに幕を閉じました。

2015. 7/10, 7/11, 7/13~7/16
新国立劇場 オペラ劇場



2015. 10/27, 10/28
あましんアルカイックホール



©寺司正彦

Voice

鑑賞した高校生の声 アンケートより

- ・初めてのオペラだったが、すごく迫力がありとても楽しめたので、良かったです。有名なオペラを観てみたくなりました。
- ・とても声が美しく、すごい声量だと思いました。人生初の体験で感動しました。
- ・初めてオペラを観賞しました。迫力とパワーに感動しました。アリアも涙が出ました。

[会場の様子]



©寺司正彦



ロームとローム ミュージック ファンデーションが メセナアワード優秀賞を受賞!



2015年10月15日、公益社団法人企業メセナ協議会が毎年、芸術・文化を通じた社会創造の観点で特に優れた活動を顕彰する「メセナアワード」の発表が行われ、ロームとローム ミュージック ファンデーションが優秀賞「音でつなぐ世界賞」を受賞しました。

今回の受賞はローム ミュージック ファンデーション主催、ローム協賛のもと1993年から継続して実施している「京都・国際音楽学生フェスティバル」を評価していただいたものです。

受賞のポイントとして、「世界中の音楽学校とネットワークを形成し、次代の音楽家の育成に貢献している／継続的な鑑賞機会の提供により、地域の音楽文化の向上に寄与している」という点が評価されたとのこと。

11月20日には贈呈式が行われ、ほかの受賞団体とともにローム株式会社代表取締役社長の澤村諭（ローム ミュージック ファンデーション 理事）も出席し、トロフィーと賞状が授与されました。



贈呈式より 受賞者および企業メセナ協議会関係者の集合写真（前列左から3人目）ローム株式会社 代表取締役社長 澤村諭



京都・国際音楽学生フェスティバル2014 公演およびフェアウェルパーティーの様子

©佐々木卓男

奨学生一覧

(各分野五十音順)

ヴァイオリン/87人

青木 尚佳
青谷 友香里
アシュリー マリア アヤ
東 珠子
安彦 千恵
伊賀 あや
石橋 幸子
石原 隆志
磯 絵里子
糸井 真紀
伊藤 文乃
井上 奈央子
植村 太郎
植村 菜穂
植村 理葉
牛草 春
エリック・シューマン
尾池 亜美
王 中男
大江 馨
大岡 仁
大島 莉紗
大谷 玲子
岡崎 慶輔
岡本 誠司
小野 明子
榎本 大進
加野 景子
神尾 真由子
神谷 未穂
川村 奈菜
木嶋 真優
岸本 明乃加
木村 悦子
清永 あや
日下 紗矢子
郷古 廉
小林 美緒
小林 美樹
佐橋 まどか
佐藤 久成
志満 直美
島田 真千子
島原 早恵

清水 有紀
白井 麻友
菅井 京子
鈴木 愛理
鈴木 舞
周防 亮介
滝 千春
瀧村 依里
田島 悠子
立上 舞
田中 晶子
田中 晶子
谷本 華子
玉井 菜採
辻 彩奈
坪井 夏美
長尾 春花
中島 麻
成田 達輝
西川 茉莉奈
西澤 和江
二瓶 真悠
林 悠介
原 麻里亜
原田 亮子
福田 廉之介
藤江 扶紀
前田 志乃
正戸 里佳
松川 暉
松田 理奈
三上 亮
村田 美英
毛利 文香
守屋 剛志
矢野 玲子
山根 一仁
梁 美沙
弓 新
湯本 亜美
吉田 南
米元 響子
渡邊 ゆづき

ヴァイオリン/12人

赤坂 智子

大野 若菜
金丸 葉子
坂口 翼
杉田 恵理
瀧本 麻衣子
田原 綾子
中島 悦子
原 麻理子
牧野 葵美
山崎 智子
渡邊 千春

チェロ/30人

伊藤 悠貴
上野 通明
上村 文乃
植村 葉夏
江口 心一
遠藤 真理
岡本 侑也
奥田 なな子
加藤 文枝
門脇 大樹
唐沢 安岐奈
熊澤 雅樹
佐々木 蘭望
高木 慶太
辻本 玲
中木 健二
長谷川 彰子
林 裕
平野 朝水
藤井 泉
堀江 牧生
松山 翔子
マーク・シューマン
三井 静
峰本 更
宮田 大
山上 ジョアン 薫
山本 徹
横坂 源
渡邊 方子

クラリネット/10人

梅原 希枝
金子 平
小林 知世
小山 洋子
白子 正樹
辻本 聡子
中川 知美
原田 綾子
福田 さあや
吉田 誠

クラシックギター/3人

谷辺 昌央

藤元 高輝
松本 大樹

ヴィオラ・ダ・ガンバ/1人

酒井 淳

フルート/17人

阿部 礼奈
井坂 実樹
岩瀬 桐子
上野 星矢
大久保 彩子
久保 順
倉田 優
小山 裕幾
庄田 奏美
中村 薫
萩原 貴子
藤井 香織
本宮 湖心
増本 竜士
森岡 有裕子
若林 かをり
渡邊 玲奈

オーボエ/4人

荒 絵理子
岡山 理絵
田代 奏子
本多 啓佑

クラリネット/10人

梅原 希枝
金子 平
小林 知世
小山 洋子
白子 正樹
辻本 聡子
中川 知美
原田 綾子
福田 さあや
吉田 誠

サクソフォン/1人

中島 諒

ファゴット/3人

小山 莉絵

中野 陽一郎
藤村 踊子

トランペット/2人

菊本 和昭
佐藤 友紀

トロンボーン/2人

清水 真弓
山本 浩一郎

ユーフォニウム/1人

安東 京平

打楽器/5人

池上 英樹
岩見 玲奈
沓野 勢津子
通崎 睦美
福山 直子

ハープ/5人

景山 梨乃
シュレイファー 弓子
高野 麗音
林 千佳世
福井 麻衣

パイプオルガン/1人

椎名 雄一郎

チェンバロ/2人

北御門 はる
脇田 英里子

ピアノ/116人

浅野 未麗
有吉 亮治
石川 武蔵
石田 啓明
石村 純
乾 絵美
今井 彩子
今田 篤
入江 一雄
岩本 恵理
江澤 茂敏
江尻 南美

岡田 奏
大井 浩明

大崎 結真
大西 真由子
岡本 直樹
奥田 晓仁
奥村 友美
小沢 麻由子
越知 晴子
海瀬 京子
梯 剛之
柏原 佳奈
加藤 洋之
加野 瑞夏
神野 千恵
河内 仁志
川崎 翔子
川島 基
川田 健太郎
河村 尚子
菊地 裕介
菊池 洋子
喜多 宏丞
清塚 信也
日下 知奈
工藤 奈帆美
久保 千尋
倉澤 杏菜
高 実希子
壽 千明
小林 愛実
小林 有沙
小林 海都
齊藤 一也
坂本 真由美
崎谷 明弘
佐々木 宏子
佐竹 裕介
佐藤 卓史
佐藤 彦大
佐藤 麻理
佐野 まり子
紫垣 英二
志鷹 美紗
釈迦郡 洋介

白川 多紀
菅野 将紀

鈴木 謙一郎
住友 郁治
関本 昌平
芹澤 佳司
反田 恭平
高田 匡隆
高橋 礼恵
内匠 慧
田中 香織
田中 正也
田村 響
津嶋 啓一
津田 裕也
鶴見 彩
土居 知子
中尾 純
中桐 望
中島 彩
長瀬 賢弘
中元 千鶴
奈良 希愛
新美 光映
沼澤 淑音
萩原 麻未
橋本 尚
服部 慶子
花岡 克典
浜野 与志男
林田 麻紀
平松 悠歩
福田 和子
真隅 政大
松尾 久美
松岡 淳
松本 和将
丸山 耕路
萬谷 衣里
Elezovic MIA
三浦 友理枝
三戸 あけみ
三宅 麻美
宮下 彩子
宮田 理生

務川 慧悟
村田 理夏子

村松 珠美
森田 義史
矢島 愛子
山田 剛史
山本 亜希子
吉兼 加奈子
ティーデン 吉川 右希子
吉田 友昭
吉武 優
米津 真浩
李 早恵
脇岡 洋平

オルガン/2人

福本 茉莉
宗 かおり

声乐/53人

石井 教子
市原 愛
乾 麻里子
山下 新吾
山本 美央
吉田 貴子
藍 野流
李 恩敬
加藤 史幸
加藤 麻衣
川島 幸子
川原 成子
木下 周子
木下 美穂子
木村 善明
木村 里花子
蔵田 みどり
小玉 晃
小林 沙羅
近藤 圭
崔 宗宝
坂本 知亜紀
志摩 大喜
清水 俊徳
周 江平
杉原 かおり
鈴木 愛美
田邊 織恵

谷口 伸
谷村 由美子

田村 麻子
趙 非
津國 直樹
辻 裕久
寺田 功治
田大成
富岡 明子
中川 恵美里
中島 康晴
嶋海 真希子
藤木 大地
藤谷 佳奈枝
本田 智衣
松原 友
真野 路津紀
溝淵 悠理
峯島 望美
宮里 直樹
森野 美咲
山下 新吾
山本 美央
吉田 貴子
藍 野流
李 恩敬

指揮/21人

粟辻 聡
石川 星太郎
伊藤 翔
垣内 悠希
川本 真司
岸本 有理
鬼原 良尚
齊藤 一郎
阪部 慎太郎
篠崎 靖男
下野 竜也
杉本 優
橋 直貴
寺岡 清高
阪 哲朗
三ツ橋 敬子
村上 寿昭
村中 大祐

森 香織
森口 真司

森田 宏樹

作曲/18人

阿部 俊祐
稲森 安太己
今井 智景
木下 正道
小出 稚子
酒井 健治
坂田 直樹
塚本 瑛子
中川 佐織
夏田 昌和
朴 炳五
松宮 圭太
松本 直祐樹
ママトウメル
山口 純
李 大軍
渡邊 愛
渡辺 裕紀子

教会音楽/1人

小山田 薫

音楽学/13人

金 土友
貞方 マキ子
周 耘
白石 悠里子
関本 菜穂子
園田 みどり
高野 裕子
戸祭 哲子
西村 理
畑野 小百合
早坂 牧子
丸山 瑠子
李 金叶

オペラ演出/4人

井原 広樹
郭 才銀
馬 金泉
森岡 純子

計 414人

(2016年3月現在)

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション



2016.1.10 OPEN
ロームシアター京都
ROHM Theatre Kyoto

ローム ミュージック フレンズ No.3
—ロームミュージックファンデーションの音楽文化支援情報誌—

発行 2016年3月

企画・発行：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション
〒615-0044 京都市右京区西院西中水町1
TEL (075) 311-7710 FAX (075) 311-0089
<http://www.rohm.co.jp/rmf>

協 賛：ローム株式会社

この情報誌に掲載の写真・文章の無断転載を禁じます。

2016.3.10K

UD
FONT

